



10月号

2015年

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3 	4 
5 	6	7	8	9	10 ◇第9回 SST 年中セミナー	11 
12 	13	14	15	16	17 ◇第10回 SST 年中セミナー	18 
19 	20	21	22	23	24 	25 地球応援団！ COSMOS “タイムスリップ アドベンチャー”
26 	27	28	29 	30 	31 ◇第11回 SST 年中セミナー	

★10月29日・30日の SST・SSK・作文倶楽部の通常授業はお休みです。



は、休塾日です。

お問い合わせ

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 月2回クラス	4 ☆キッズラボ 月1回授業日
5 	6	7	8	9	10 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 月2回クラス	11 
12 	13	14	15	16	17	18 
19 	20	21	22	23	24 ☆キッズラボ 月1回クラス ◆SST年長 土曜日クラス	25 地球応援団！ COSMOS “タイムスリップ アドベンチャー”
26 	27	28	29 	30 	31 ★キッズラボ 月2回クラス ●作文倶楽部 月2回クラス	

★10月29日・30日のSST・SSK・作文倶楽部・Leptonの通常授業はお休みです。

★10月1～2, 27～30日のキッズラボはお休みです。



は、休塾日です。

お問い合わせ

# 10月のご案内

## 地球応援団！COSMOS Act. 6

地球応援団！COSMOSは、11月28日（土）・11月29日（日）に3～6年生を対象とした宿泊イベントを行います。今回のCOSMOSでは、普段のCOSMOSとは一味違う“トレジャー・ハンター！お宝を発見せよ！”をテーマに奇石博物館での宝石探しなどをおこないます。詳しい内容は10月中旬よりご案内を予定しております。ぜひご参加ください。

### ★10月17日（土）申込みスタート

☆小学3～6年生対象

☆スクール生以外のお友達も一緒に参加していただけますので、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

## 秋のシーガル読書マラソン

毎回シーガルっ子たちに読書ブームを巻き起こしている「シーガル読書マラソン」。すっかり定着しつつありますが、もちろん、この秋も実施します。

今回は10月6日（火）からのスタートで、期間は春と同じ2か月間（12月6日まで）です。春におこなった前回の「シーガル読書マラソン」では、たくさん子どもたちが本と出会い、自分たちの学年の目標を達成することができました。読書マラソン後も「本を借りたい」と一生懸命本を選んでいる子や読書マラソンをきっかけに本が大好きになった子もいました。秋も読書を通して、感じたり、想像したり、考えたり、そして本の楽しさ・面白さをもっと知ってほしいと思います。

☆詳細は10月より配付するレターをご覧ください。

☆期間中は、前回同様にシーガル文庫の図書を1回に2冊まで借りることができます。



## SST年中セミナーのお知らせ

9月より SST 年中セミナー後期が始まりました。後期は全9回となっており、一回完結となっておりますので、是非お気軽にご参加ください。

★開講日時：10月10日・17日・31日  
11月14日・12月12日・19日  
1月30日・2月13日

※すべて土曜日です。

★定員：1クラス6名

☆詳細は別途配付いたします。レターをご覧ください。



## 読書の秋～読書を「勉強」から「遊び」へ～

朝夕の風も涼しくなり、秋の訪れを感じる季節となりました。日が沈むのも早くなり、自然と子供たちが家にいる時間も長くなってきたのではないのでしょうか。秋の夜長には家で読書の時間をつくっていただけるよう、シーガルスクールでは秋の読書月間『読書マラソン』を毎年おこなっています。

国の調査によると、1ヶ月に本を全く読んでいない小学生の割合は約1割とあり、活字離れとまでは言えない結果に思えます。それに対して、経済協力開発機構(OECD)がおこなった生徒の学習到達度調査によれば、「趣味としての読書をしない」と答えた生徒は、OECD 平均では 31.7%ですが、日本では 55.0%となっているそうです。加えて、日本の子供たちは世界の子供たちと比べて、「どうしても読まなければならないときしか、本は読まない」習慣になっているのではないかと指摘しています。確かに日本の学校教育では、特に低学年のうちは国語の物語を音読する宿題を課すことも多く、読書タイムを設けている学校も少なくはありません。しかしそれは敢えて読書の時間を設けているのであり、それで子供たち自らが本を手にする機会が増えるとは言い切れないのが現状です。

本を読むということは、本来勉強のためなのではなく、娯楽として人々の間に根付いてきたものです。しかし、テレビやカードゲームなど子供たちの遊びも多様化し、次第に本を読むことが娯楽ではなく勉強の時間にしかおこなわれなくなってしまったことで、先の OECD の調査結果のように子供たちの読書が強制されてしまったのではないのでしょうか。確かに読書をすれば、物語の読解力も高まり、国語力の向上に繋がります。だからといって、読書を勉強のものだけにしてしまっただけでは、子供たちが楽しみながら本を読む習慣はいつまでたってもつきません。

だからこそシーガルスクールでは、子供たちが自ら「本を読みたい」と思ってもらうことを大切にしています。例えば、読んだ本のページ数を足していきクイズに挑戦したり、クラス単位で読んだ本の感想の出来を競い合ったりと。こうして、遊びの中に読書が埋め込まれていくことで、子供たちは誰かに強制されることなく、自然と本を手取るようになるのです。

この秋は、読書を娯楽の1つとして子供たちに楽しんでもらえるよう、ワクワクがいっぱいの『読書マラソン』をシーガルスクールからお届けします。ご家庭でも、ご家族みなさんで本を手に取り、本を読む時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

